



スポーツウエルネス吹矢 「岩手Aチーム」(選手)

さとう ゆういち
佐藤 祐一さん 66歳
● 参加歴：1 回目

ねんりんピックの感動を多くの人に伝えたい

ねんりんピックにあこがれを持っていたので、今回出場できたことはとてもうれしいできごとでした。吹矢を始めて10年以上になりますが、スポーツウエルネス吹矢がねんりんピックの種目に加わったことで参加することができました。

まずは、松山市の陸上競技場で行われた、まるで国体のような開会式の素晴らしさに感動しました。60歳を過ぎてもこのような体験ができるなんて、とても素晴らしいことだなと思いました。

スポーツウエルネス吹矢の競技会場は砥部町で、地元小学生の手作り応援メッセージ入り紙製メダルが各選手に配られました。私のメダルには、「自分の力が出せるようにがんばってください」と書いてありました。この紙製メダルをお守りとして首から下げ、試合に臨みました。

競技は、3人1組の団体戦、6ラウンドの3人の合計得点で競います。試合直前になると、すごく緊張してきました。その時、応援メッセージの言葉を思い出し、「そうだ、いつもの実力を出せばそれでいいんだ」と思い、すごく落ち着くことができました。



表彰式後、入賞の喜びをチームでかみしめた。(左端)

午前中の3ラウンドが終わった時点で、我が「岩手Aチーム」は6位でした。このまま後半戦も頑張れば6位に入賞できると思うと、一気にワクワクドキドキ感が増してきました。

午後の残り3ラウンドが終わり、いよいよ結果発表。結果は6位入賞。やったー！こんな大きな大会で入賞できるなんて！これも、あの小学生の手作り応援メッセージのお陰だと思いつつ、賞状とメダルをいただきました。

大会の様子は、グループラインで地元岩手の花巻ふくろう支部の仲間にも伝えることができ、喜びを分かち合いました。

また、競技会場には蛇口から出るミカンジュースのサービスや地元特産のミカンの出店があり、極早生のミカンを味見してみたらとても美味しく、小粒の中でもさらに美味しい極小粒のものだけを送ってもらいました。岩手ではなかなか手に入らない愛媛ならではのミカンで、職場や吹矢仲間とともに美味しく食べることができました。

初めてねんりんピックに参加しましたが、全国の仲間との交流や開催県の地元の方々のおも



競技会場に設置されたミカンジュースを堪能。

てなしの心に触れたり、ワクワクドキドキ感を味わったり、この大会でたくさんの感動を体験しました。この感動を仲間に伝え、多くの人にねんりんピックに参加してもらえれば良いなと思いました。